

介護保険の広域連合化

奥野 英介 議員
(自民みらい/伊勢市選出)

問

介護施設を増やせば、その市町の介護保険料が上昇することが、介護施設不足の原因の一つとして考えられます。



三重県内のどこに住んでいても、限りなく平等であることが県政の大きな役割です。県が介護保険を広域連合化すれば、介護施設の不足が解消し、施設待ちをする後期高齢者や、その家族も安心できると考えますが、いかがですか。

答

介護保険は、給付と負担が連動する社会保険方式であり、サービス量が多い市町では保険料水準も高くなります。

サービス量や保険料に過度な地域間格差が生じないような制度設計が大切であり、今後、制度改正などの議論の中で国に対して、このことを伝えていきたいと考えます。

その他の質問事項

○地方交付税の不安と地方財政
ほか

欧州訪問と高度部材イノベーションセンター(AMIC)

稲垣 昭義 議員
(新政みえ/四日市市選出)

問

知識集約型の産業構造へ転換するための拠点として整備されたAMICについては、今議会で研究施設増設のための補正予算が計上され、新たな設備投資も計画されています。AMICの今後の展望について伺います。

答

AMICを拠点に、引き続き研究開発プロジェクトの誘致を進めるとともに、海外の研究機関などと県内企業との技術交流・技術提携を積極的に進めていく予定です。



高度部材イノベーションセンター

欧州訪問では、双方の地域産業の強化を目的として、協力協定を締結するなど成果があり、両地域の強みを活かした研究開発などを具体化していきたいと考えます。

○事業仕分け
ほか

脳脊髄液減少症の学校での対応

中川 康洋 議員
(公明党/四日市市選出)

問

③脳脊髄液減少症への理解を進めることが必要だと考えています。疾患が原因で不登校になる場合もあるため、学校で症状が現れる児童・生徒を早く発見し、適切な治療につなげるためにも、教職員に対する研修を実施してはいかがでしょうか。

答

教職員の理解を深めるため、さらに周知を図る必要があると考えています。速やかに適切な対応がとれるよう、養護教諭をはじめとする教職員への研修の中で、周知啓発を図っていきます。

JRR名松線の復旧

真弓 俊郎 議員
(日本共産党三重県議団/津市選出)

問

JRR東海は、台風18号で被害を受けた名松線の家城・伊勢奥津間は、復旧しても安全が確保できないとして、バスでの輸送を主張しています。自治会などでは復旧への署名活動が行われていますが、今後の対応について伺います。

答

県では、ヘリコプターを使った上空からの調査や現地確認を行いました。

今後、津市などとも連携し、被災状況の把握に努めるとともに、JRR東海には、鉄道による復旧を求めていきます。

用語解説

1 地域医療再生計画

都道府県が、救急医療の確保や地域の医師確保など地域における医療課題の解決を図るために策定する計画。

この計画に基づく取り組みに対し、国が各都道府県に「地域医療再生臨時特例交付金」を交付。

2 AMIC(高度部材イノベーションセンター)

高度部材(高い機能を生み出す部材)にかかる「最先端の研究開発」や「中小企業の課題解決支援」「産業技術人材育成」などに取り組む拠点として、平成20年3月、四日市市塩浜町に整備。

最先端の研究開発や講演、セミナーなどを通じて、地域の企業が、国内外の大学・研究機関など異なる分野、組織の技術者と交流し、地域発の新たな価値(イノベーション)を生み出していくための拠点。

3 脳脊髄液減少症

交通事故やスポーツ外傷、落下事故など頭部や全身への強い衝撃によって脳脊髄液が慢性的に漏れ続け、頭痛、首・背中の痛み、腰痛、しびれ、めまい、吐き気、思考力低下、うつ症状など複合的に現れる症状。